

平和な社会を築くため テルの顕彰事業の発展を



挨拶する宮城恭子会長

第6回長谷川テル顕彰の会総会

10月5日、奈良市中部公民館で第6回長谷川テル顕彰の会総会が開かれ、2年後に迎える「長谷川テル没後80年記念事業」の構想を確

認、長谷川テル顕彰事業の更なる発展を誓い合いました。

総会の前日に、改憲・大軍拡を主張する高市早苗氏が自民党総裁に選出されたことを受け、長谷川テルが身をもって残した教えを踏まえ、平和な日本と世界をめざす全国の諸団体と連帯して運動をすすめることを確認しました。

総会では、宮城恭子会長が「日本でも世界でも反動と進歩のせめぎ合いの真ただ中です。平和を求めて世界と日本の皆さんと連帯して運動を進めましょう」と、主催者を代表して挨拶。

田辺実事務局長が提案した2年後・2027年に迎える「長谷川テル没後80年記念事業」構想など、奈良・長谷川テル顕彰の会の顕彰事業についての「報告と提案」を全員で確認しました。また、9月に刊行された『長谷川テル著作集』（長谷川テル研究会編）の普及に努力することを確認しました。

総会は、「奈良・長谷川テル顕彰の会2024年一般会計決算案」、「2025年一般会計予算案」等を承認しました。

ヴェルダ・マリーヨ通信
ヴェルダ・マリーヨ(緑の5月)は長谷川テルのエスプレラント名

NO. 64

2025.10.31

奈良・長谷川テル
顕彰の会事務局
☎/F0742-61-7194

・宮城恭子会長挨拶・・・2ページ
・田辺実事務局長「報告と提案」
報告・・・2ページ
・奈良・長谷川テル顕彰の会
会則改定・・・5ページ
・総会に寄せられた祝辞・
メッセージ・・・7ページ
・前号に対する感想・・・9ページ

総会は、「顕彰の会」の強化・発展を反映した役員の規定を新たに設けた「会則改定」を決定し、16名の推進委員を選出。

総会には、奈良県在住の会員12名が出席、西久美子推進委員の議長のもとで行われました。また、山本恒人氏（大阪・長谷川テル顕彰の会共同代表、日中友好協会大阪府連合会会長）から寄せられたメッセージが代読・紹介されました。

ブックレット『長谷川テル』の合評会開かれる

総会の第2部として開かれたブックレット『長谷川テル』の合評会には、京阪奈情報教育出版の住田幸一社長と、機関紙コムから岸下あづみ氏も参加し、ハンディで総合的なガイドブックとして成功したことを確認し合い、将来第2刷りに発行に備えることを語りあいました。

人間が大切にされる平和な社会を築くために

宮城恭子会長の挨拶（要旨）

第6回長谷川テル顕彰の会総会へのご出席ありがとうございます。

昨日（10月4日）自民党の総裁選挙がおこなわれ、高市早苗氏が選出されました。中小企業同友会全国協議会 憲章・条例推進本部顧問・杉村征郎氏が強調するように、どんな事態になっても「人間が大切にされる平和な社会」を築くためにがんばりましょう。反動と進歩のせめぎあいのなかにあります。アップアップしながら、

もがきながらも、せめぎあいを乗り越えて行きましょう。

皆さんにチラシを配布してありますが、10月19日、京都府祝園へのミサイル配置阻止の全国集会に是非参加いたしましょう。

様々な人たちと手を結んで、“戦争してはいけない”との声を大きく響かせましょう。

『長谷川テル著作集』が刊行されました。奈良、大阪、京都の皆さんの努力で実現しました。大変読みやすい本ですね。奈良・長谷川テル顕彰の会としても普及に力を注ぎましょう。

今日の総会の直後（13日から）に、中国への歴史的旅が控えています。実り多い旅の成功を祈念いたします。そして、今日の総会では、2年後に迎える「長谷川テル没後80年記念事業」構想をつかり議論し、テルさんの顕彰事業の更なる発展の土台を築きましよう。皆さんの、積極的なご議論をお願いいたします。

テル没後80年記念事業を盛大に行おう

田辺事務局長が「報告と提案」を報告

2年後の2027年は長谷川テル没後80年を迎えます。田辺実事務局長は、テル没後80年の記念すべき年にあたって、①追悼集会を兼ねて第4回碑前祭（4月）、②第3回日中不再戦 長谷川テル顕彰の旅 ジャムス5泊6日などの記念事業を、全国の皆さんの協力を得て、全世界に呼びかけ、節目の年に相応した内容と規模で行うことなどを中心とした第6回長谷川テル顕彰の会総会への「報告と提案」を行いました。

以下は、その概要です。

第6回総会の中心課題



報告する田辺実事務局長

第6回総会は、第2回「長谷川テル訪問記念の碑 碑前祭」の成果を踏まえ、第3回「碑前祭」の開催の構想を検討すること、多面的に発展しつつある顕彰事業の到達を確認し、更なる発展を期すことが中心課題です。あわせて、「長谷川テル没後80年記念行事構想案」を検討します。

一昨年4月30日に行った「碑」除幕式以降、全国の皆さんのご努力で、「碑」について、様々なスタイルで語り、宣伝・訪問をしていただいています。その規模の大小を問わず、事務局に寄せて頂いている取り組みは180件を超えています。

また、4月に発刊したブックレット『長谷川テル』は好評をいただき、一気に普及がすすみ、第2刷りの具体化が必要になっています。総会を機会に、「合評会」を行い、ブックレットの充実、普及の経験を交流し第2刷りに備えます。さらに、10月13日に出発する「第2回日中不再戦 長谷川テル顕彰の旅 武漢・重慶6泊7日」は、29名の参加で行う準備が進められています。

第6回総会は、以上の諸課題とあわせ、重要な課題として、発展しつつある奈良・長谷川テル顕彰の会に即した会則に改正することがあります。

長谷川テル顕彰事業を多面的に進めつつ、来年迎える第3回碑前祭の構想を次のように提案します。

第3回「長谷川テル訪問記念の碑」碑前祭の開催について

第3回「長谷川テル訪問記念の碑」碑前祭の開催については次の構想に基づいて実施します。

- ・開催日 2026年4月19日（日）
- ・第1部 碑前祭の会場は般若寺境内
- ・第2部 全国交流集会
- ・懇親会 全国交流集会後開催する

以上の構想にもとづいてこれまでの除幕式、第2回碑前祭の経験をふまえ具体化します。

長谷川テル没後80年記念行事構想の骨子案

また、田辺事務局長は、2027年に迎えるテル没後80年に当たって次のように構想を提案しました。

2027年1月10日は、長谷川テルが亡くなって80年忌となります。この記念すべき年に次の「長谷川テル没後80年記念行事構想案」にもとづいて、テル顕彰事業に繋がる人々の意見を広く求め充実した計画を立て実行のために努力します。構想の骨子は次の

通りです。

・ 没後80年プレ企画として2026年の適切な時期に山梨県大月市の生誕の地訪問

・ 没後80年追悼集会を兼ねて第4回碑前祭（2027年4月）

・ 第3回日中不再戦 長谷川テル顕彰の旅 ジャムス泊6日

・ 市民参加型の（できれば、奈良女子大生や中国からの市民参加も得て）演劇や音楽会などの文化交流行事も企画する。

・ これらの取り組みを通じ、武漢、重慶、ジャムスのエスペランストや全世界のエスペランチストとの交流を広げ・強める努力を重ねます。

以上を骨格としつつ、全国的に提案を募り可能な課題を設定して具体化する。

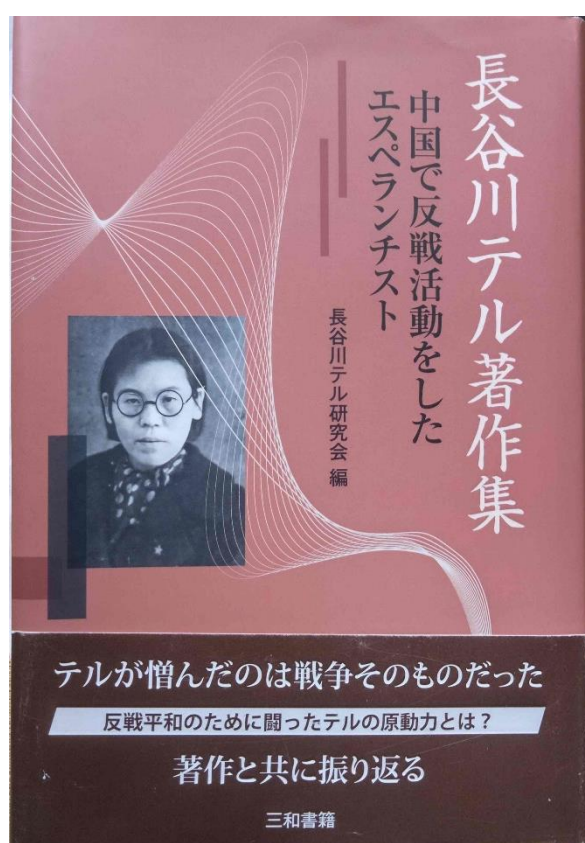
学問的価値ある『長谷川テル著作集』の普及に全力を

西田千津氏が発言

9月に刊行された『長谷川テル著作集』について、同書編集員を務めた西田千津氏は、宮本正男が大変な努力をして編集・刊行した『長谷川テル作品集』を引きついで、これまでは一般に知られていなかったテルの日本時代の諸作品とともに、中国で執筆したエッセイ、評論など多数収録されており、学問的価値の高い『作品集』となった。これまで、伝説的・断片的に語られてきたテルの全体像が蘇った。テルが何を言いたかったのか、どの様に頑張ったのかが全面的に明らかになった。是非、広く普及したい。と述べました。

（発言全体は、後日「ヴェルダ・マヨ通信」特集号に掲載します。）

田辺事務局長は、西田氏の発言を受け、『著作集』の内容と意義に触れ、広く普及し、テル顕彰事業の推進力のアップを図ることを呼びかけました。



『長谷川テル著作集』のご注文

手渡しの場合は、1冊6,500円をお願いしています。遠方の方には、郵送料600円を加算し、7,100円をお願いします。注文先 事務局（田辺 電話0742・61・7194）

会則の改定を決定

総会では、田辺事務局長が、8年前に数名で発足した「顕彰の会」が、現在43名に拡大・発展していること、さらに2年後に迎える「テルの没後80年記念」の諸事業を成功させる力をもった100名以上の会員をめざし、それにふさわしい会則に改定することを提案しました。改定案は、全員一致で確認されました。(改定された会則は別項に記載)

奈良・長谷川テル顕彰の会会則

(2025年10月5日改定)

1 会の名称・発足及び会員

本会の名称を「奈良・長谷川テル顕彰の会」と称する(以下「会」とする)。本会は2017年5月26日、「治安維持法犠牲者・長谷川テル顕彰会(仮称)の奈良県準備会」として発足し、2018年6月9日結成総会を行い現行の名称に改称した。会の目的に賛同し会費を納入する人を会員とする。

2 会の目的

奈良女子高等師範学校に学び、1932年9月、治安維持法によって検挙され、同校からの退学を余儀なくされたが、エスペランティストとして抗日反戦を訴え続けた長谷川テルの業績を調査・研究・顕彰し、市民レベルの日中友好・親善事業を推進する。また、世界のエスペランティストとの交流をすすめる。

3 会の主な事業

会の目的を達成するために次の事業を推進する。

- i) 資料の収集に努力し、調査・研究を進める。
- ii) 般若寺境内に「長谷川テル訪問記念の碑」が建立されたことを国内外に広く広報し、訪問・見学を呼びかける。
- iii) 「日中不再戦・長谷川テル顕彰の旅」など、中国や国内の長谷川テルの足跡をたどる旅を企画・実行する。
- iv) 学習会、映画上映会、合唱曲の発表会、書籍の編纂・刊行などを順次実行する。
- v) 全国各地で進められる長谷川テルの顕彰活動と協力・共同して調査・研究をすすめる。

4 会の総会、役員、事務局

年に一回総会を開き、取り組みを総括し新年度の方針を決定し、役員と会計監査を選出する。会の役員は、推進委員とし、会の運営にあたる。推進委員は、会長、事務局長、事務局次長、会計を互選する。

推進委員会のもとに事務局を置き日常の業務を執行する。会の所在地を会長宅に、事務局は、事務局長宅に設置する。

5 会の会計

会の会計は、会員が納入する会費(年会費2,000円)と募金によって賄う。会計年度は1月1日～12月31日とする。

6 付則

その他、会の運営に必要な事項は推進委員会で決める。

会則制定日 2018年6月9日。

一部改正 2020年11月8日。
一部改正 2023年9月9日。
一部改正 2025年10月5日

以上

会の所在地

630-8122
奈良市三条本町5-5
宮城恭子宅

会の事務局

〒630-8442
奈良市北永井町277-3
田辺 実宅 (☎/ F
0742-61-7194)

Email:

tanabe66@amber.plala.or.jp

会則の改定に際して（顕彰の会の性格等について）

昨年来、奈良・長谷川テル顕彰の会の会則上の役員とはなにかについて、疑問が起り議論となってきました。

奈良・長谷川テル顕彰の会が発足時、会員は少数で特に役員の規定はなく、会長及び事務局長を決め、顕彰事業を進めてきました。この間、「碑」の建立が実現し、ブックレットの刊行など顕彰事業が確実に進められてきました。また、会員も43名に拡大し、取り組む課題も多面的に発展しています。

今日、多面的顕彰事業の推進と大きく発展しつつある会にふさわしい、役員体制の確立が求められています。

奈良・長谷川テル顕彰の会の発足の根拠と組織の性格

奈良における「長谷川テル顕彰の会」は、長谷川テルが奈良女子高等師範学校に学び治安維持法違反容疑で検挙され退学を余儀なくされた舞台となった奈良県で、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部が、長谷川テルの顕彰事業を提唱することによって発足しました。同時にエスplanチストである長谷川テルが、中国に渡り日本人女性として抗日反戦に生涯をさげられたこと、日本軍の蛮行を全世界に発信されたこと、これらの内容が『作品集』としてまとめられていることなどに、多面的に光を与え顕彰事業を推進してきました。

また、顕彰の会は、会則に明記されているように、顕彰事業を様々な角度から発展させるなかで、2023年4月に「長谷川テル訪問記念の碑」建立と除幕式、2025年の第2回碑前祭に際してブックレット『長谷川テル』を刊行することなどを軸に顕彰事業の総合的な発展をめざしてきました。

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部、日中友好協会、奈良エスペラント会などの諸団体の理解と協力をえながら、組織としては個人参加の団体として発展してきました。つまり、長谷川テル顕彰事業において、特定の課題に特化した団体ではなく、顕彰事業を総合的・多面的に推進する個人参加の団体として発展していることが重要な特徴です。

奈良・長谷川テル顕彰の会の役員と推進委員の名簿

(2025年10月5日)

会長 宮城 恭子(奈良県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会理事長)

事務局長 田辺 実(治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部顧問)

会計 西 久美子(奈良女子大学卒業、奈良県)

推進委員会の構成員

奥西 正史(治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部国際部長代行)

加藤 宣之(治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部会長)
越山 のぶ子(治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部常任理事・治安維持法犠牲者遺族)

新 佐々木茂純(奈良市)

竹森浩俊(奈良エスぺラント会々長)

田中 郁(奈良女子大学卒業、奈良蟻の会合唱団々員)

田中 澄江(詩人会議会員・治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部常任理事)

田辺 実(治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部顧問)

西 久美子(奈良女子大学卒業、奈良県)

西田 千津(奈良女子大学博士課程単位取得退学、京都府)

平井 富勝(日中友好協会奈良県本部会員)

福寫 繁男(大阪市)

新 松村光庸氏(大和高田市)

宮城 恭子(奈良県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会理事長)

新 水谷奈美(奈良蟻の会合唱団々員)

新 山下善昭(日中友好協会奈良県本部会長)
以上16名

新 会計監査 中西とし子(奈良エスぺラント会会員)

以上

総会に寄せられた祝辞・メッセージ

第6回総会にあたって寄せられたメッセージを紹介します。

長谷川テル顕彰の会2025年度総会へのメッセージ

大阪・長谷川テル顕彰の会共同代表

日中友好協会大阪府連合会会長

山本恒人

戦後80年、日中戦争中国勝利80周年という記念すべき年に開催される、奈良・長谷川テル顕彰の会総会、まことに意義深く、感慨ひとしおです。皆さんに心から敬意と連帯の気持ちを捧げます。日中戦争をやめさせ、世界と日中両国の平和を実現するために、戦争現地に向かって勇氣ある行動にふみだしたテルさんをみなさんと一緒に偲びたいと思います。みなさんが企画された「第2回日中不再戦・長谷川テル顕彰の重慶・武漢の旅」ご出発も間近、ヴェルダマーヨ・長谷川テルさんはみなさんをどれほど熱い気持ちで迎

えてくれることでしょう。

1945年8月15日、昭和天皇の敗戦の詔勅と鈴木内閣の文書を一読したテルさんは、「ご覧下さい。日本のファシストたちは4年間の『大東亜戦争』の敗北を述べているだけで、日中戦争の失敗を全く認めておりません。彼らは8年来、中国人民に加えた大きな血の債務については黙殺しているのです」と厳しく批判。日本の政権軍部による第二次世界大戦の歪んだ終え方によって、日本が大きな「欠落」をかかえたまま戦後を歩まざるをえない、と指摘した意味を、改めてしっかり噛み締め、受けとめることが大切です。テルさんの予言は、今、声高に中国脅威論を煽り、「台湾有事」が果たかも中国が引き起こすかのごとく組み立てた謀略に、日本国民を総動員しようとする日本の政権の姿に、くつきりと浮かび上がってきています。

私たち一人一人が、主体的に平和憲法を守りぬき、歴史修正主義と大軍拡を許さない立場を固め、勇気をもって反戦平和のための国民運動を推進する担い手となることこそ、長谷川テル女史の懸念を振り払い、希望に応えることになるのではないのでしょうか。長谷川テル顕彰運動の全国の牽引車「奈良の会」のみなさまが、今後自らと長谷川テルさんとを重ね合わせ、反戦と平和の前進を担っていかれる姿にエールを送り、私どもも追っかけていく決意を表明いたします。

テルとともに平和な日本と世界を

東京・澤田 博

第6回総会のご盛会おめでとうございます。

本総会が行われる10月5日は、政権与党の総裁選投票の翌日。その結果次第では、日本にも戦争への道をまっしぐらにすすむ極右政権誕生の可能性もあります。いずれにせよ、先の参議院選挙で政権与党が衆院につき過ぎ過半数割れ、石破首相も辞任に追い込まれる一方、極右勢力が大幅に伸長しました。日本の情勢はまさに戦争か平和か、その歴史的岐路にある激動の情勢のもとでの本総会だと思っています。それだけに反戦平和をつらぬき、不屈にたたかいつづけた長谷川テルの生き様、業績を学び広げる「顕彰の会」の活動は日本と世界の希望の光です。大軍拡路線をつきすすむ日本にあって、どっかい平和を願う流れも力を増しています。

台湾有事の最前線、沖縄県与那国島では、先の町長選で、「(中国とも)一戦交える覚悟がある」などと妄言する防衛省直結の町長を落選させ、「二路軍拡」に反対する町長が誕生しました。新町長は、日米軍事演習を批判し、大幅にその計画を変更させています。アメリカが一步引くなどこれまでには考えられないようなことも起こっています。「顕彰の会」の前進、発展がますます求められています。本総会がそうした期待にこたえて立派に成功することを祈念します。それは全国各地に無数のテルをつくっていくことです。

テルとともに平和な日本と世界を。

碑前祭に集う人々の行動と言葉が真理への導きとなつて

―共感と感動を呼んだ工藤良任般若寺前住職の祝辞―

第2回「長谷川テル訪問記念の碑」碑前祭での、工藤良任師の祝

辞を、「ヴェルダ・マヨ通信」NO・63（6月27日発信）に掲載したところ、「奈良時代の高句麗の慧灌法師から続く長谷川テル、そして碑前祭に集う人々の行動と言霊が真理への導きとなっております。」など、深い共感と感動の感想が寄せられています。

「ヴェルダ・マヨ通信」NO・63の「編集後記」にも書かせてもらいましたが、工藤師の祝辞は、般若寺の縁起、所依の教典、寺史等、仏教寺院としての基本を述べられました。また、仏教の根本に平和の教えがあることを説き、世界平和への期待を述べられました。あらためて、反戦平和を貫いた長谷川テルの顕彰碑が、般若寺境内に建立された意義を噛みしめる機会となりました。以下、寄せられているコメントを紹介します。

真理への羅針盤

福嶋繁男

碑前祭に関わる全ての記事をヴェルダ・マヨ通信で読ませていただきました。混沌とする世界の様相の中でもすると暗闇にまどいがちになります。そんな時、この通信は真理への羅針盤になります。般若寺の前住職がおっしゃっておられる通り、奈良時代の高句麗の慧灌法師から続く長谷川テル、そして碑前祭に集う人々の行動と言霊が真理への導きとなっております。

奈良を焼き討ちした平重衡の供養塔さえある

中西とし子

「ヴェルダ・マヨ通信」NO・63、有難うございました。本当に、工藤良任般若寺前住職の祝辞、心に染みます。

般若寺や西大寺は、北山十八間戸の実践でも示されているように、弱くされた方々に寄り添う伝統があるように思います。（国家鎮護の東大寺とは趣が違いますね。）

大仏殿を焼いた平重衡（意図的ではなく、火が燃え移ってしまったとも）の供養塔さえあり、それは、彼もまた、戦と言う仕組みの中で、命を奪われたことに、心を寄せたからではないかと、思います。

アダムさんの写真入りのメッセージも力強く、嬉しかったです。

仏教は平和を願うもの

黒田貴子

ヴェルダ・マヨ通信を拝読して、みなさまの言葉に打たれましたが、とりわけ、般若寺前住職の工藤良任さまのお話は、こうして文章にして、拝読できたことで、とてもよくわかりました。

仏教は平和を願うものというお言葉は、いま社会情勢の中で心が引き裂かれそうな私にとって大きな励みとなりました。ありがとうございます。般若寺の境内が懐かしく、再訪する日を願っています。

般若寺 工藤氏の言葉は

般若寺の存在と共に長谷川テルの生涯にも重なる

田中澄江

「通信」63号ありがとうございました。寄せられた多くのメッセージと共に、般若寺前住職 工藤氏の言葉は般若寺の存在と共に長谷川テルの生涯にも重なる戦争への抗いが強く滲み出ています。

テルさんは般若寺の仏教の心をご存じだったのかどうか：ここで学友と世の不合理と戦うことを誓い合った。だからその碑建立所以となる地として提供いただけたことに、改めて感動しました。顕彰事業の道は、まさに、世界が平和に落ち着くまで。二度と戦乱の世にならないことが確認できるまで、「終わりのない旅」として続きますね。

長谷川曉子さんを宝木武則氏に紹介

坂手日登美

「通信」NO・63を、お送り頂きありがとうございます。碑前祭に参加できず残念に思っていました。

1月に胃癌摘出手術をしましたが、幸い今のところ他臓器への転移はなさそうです。ただ、食欲減退や膠原病が出たりと、体力が戻らず、劇団活動など全ての活動が出来ないありさまです。

最近本棚の整理をしていて、本棚にしまいこんでいた「レジスタンスの青春（1984年日本機関紙センター発行）」という本が出て来て、改めて読みました。この本は「宝木寛」という昭和初期のエスペランチストの生涯を描いたものです。

作者は、宝木寛の弟の宝木実さんです。宝木実氏は1960年頃、関西合唱団の団長をされており、私に、この本を下さったのは、宝木実氏の実兄の宝木武則氏です。

私は中国北京に語学留学する前（1991年）宝木武則氏に「長谷川テルの娘さんです」と、長谷川曉子さんを宝木武則氏に紹介しました。1991年当時、武則氏の堺の団地の部屋が空き部屋にな

っており、曉子さんは、しばらく宝木武則氏の堺の部屋に住んでいました。宝木武則氏も、エスペランチストで、長谷川曉子さんとの出会いを非常に喜んでおられました。私は武則氏自身もエスペランチストとして大阪で活動していたことは氏自身から聞いてはおり、この本を改めて読んで「長谷川テルが中国へ渡るまえに大阪に寄り、大阪のエスペランチストと何らかの接点を取ろうとしたがうまく行かなかった」という事は武則氏から聞いた事を思い出しました。

1943年7月に宝木寛は26才で亡くなっています。私は、この本を宝木武則氏から頂いた直ぐあとに北京に語学留学をし、この本を殆ど読まないで30年以上経ってしまい、すっかり忘れていました。改めてこの本を読んで、色々考えているところに田辺様からのヴェルダ・マヨ通信を読みました。

自分の健康状態などを考えると、これから何が出来んだろうかと考えますが、今まで「生かされていた」ことだけでも有難いと考え、ことにしなければなりませんね。

あふれる思いは沢山

庄山美喜子

通信ありがとうございます。数日前から、*vertoij de verda majo*を読み進んでいます。エスペラントが、生きた言葉として使われ、テルさんのお仕事も広がっていったのだなあと実感できました。

もうすぐ国の方向を決める、選挙ですね。小さなささやきですが、紙芝居を作って、みんなに、選挙に行こう 自分の意思を表明

しようと呼びかけています。あふれる思いは沢山ありますが、まずは一歩一歩、小さなささやきですね。

ご住職の筆と言ひ、読み応えのあるお便りで吃驚

内藤玲子

素晴らしいヴェルダ・マヨ通信を頂きました。ご住職の筆と言ひ、読み応えのあるお便りで吃驚致しました。今回は、井口和子さんが珍しく長文のお便りでした。

先日、日朝協会の70周年の総会でお会いしたばかりでしたが、テルの会でもご活躍で嬉しく存じました。通信を読ませて頂きますと、こんなに大勢の方々と知り合いにならせて頂いていることを改めて実感し、有り難いと思います。

長谷川テルを思い出すとテルは佳木斯の何処に住んだのだろうかと一緒に活躍したかったと、無性に口惜しくなります。今でも私は、佳木斯が恋しくて泣けてきます。通っていた国民学校は、家の隣に建っていました。

テルが住んだ時代に私も住みたかったと口惜しく思います。

母や、妹、弟が亡くなった地だからこそ私の身体が熱くなるのでしょう。テルに逢いたいと心からねがいます。

実は、7月29日に京都戦争展で講演をと言われていました。

演題は「日ソ戦争」で、立命館大学です。私には、荷が重いのですが、お受けさせて頂きました。

ありがとうございます。

編集後記

猛暑・酷暑をしのぐことが出来、過ぎしやすい季節を迎えることができました。皆さんいかがおすごしでしょうか。

10月5日に行った第6回奈良・長谷川テル顕彰の会総会の内容をお届けいたします。また、当号では、般若寺の創建の経緯、仏教の教えを説いた工藤良任般若寺前住職の祝辞を、前「通信」NO・63でお伝えしたところ、多くの方から共感の声が寄せられました。その内容を掲載しました。改めて、テルの顕彰碑を般若寺に建立させて頂いた意義を噛みしめる機会となりました。

第6回総会では、前日、強権政治をすすめた安倍政権の政策を踏襲し、憲法改正を主張し、アメリカいなりの大軍拡を推進する高市早苗氏が自民党総裁に選出された直後ともあって、長谷川テルとの対局にあると受け止め、テル顕彰事業を改めて力強く推進することを誓いあいました。その重点は、2年後の2027年に迎える「長谷川テル没後80年記念事業」の推進についての検討です。

2023年4月に「記念碑」の建立を、今年はブックレット『長谷川テル』の刊行を成し遂げるなど重要な成果を挙げてきました。また、総会の直後に行われた「中国武漢・重慶への旅」は、初期の目的を達成して大きな成果を挙げました。この内容は、引き続き当通信で詳しくお伝えいたします。なお、第6回総会の機会に開かれたブックレット『長谷川テル』合評会の内容は、次号で特集させていただきます。ご期待下さい。

奈良長谷川テル顕彰の会事務局長 田辺実